



Rally challenge 2013



雨に負けない熱い走りを見せる各車。 注目のシリーズチャンピオンの行方は…!?

Rally Data

TRDラリーチャレンジ2013 Round 4 in 富山

主催 エースナビゲーター&ドライバーズ(AND)

開催日 2013年9月15日(日)

開催エリア 富山県内

セレモニアル
スタート会場 イオックスアローザ

サービスパーク イオックスアローザ

ゴール会場 イオックスアローザ

セクション数 2

SS本数 7

SSトータル距離 11 km

総走行距離 約140km

参加台数 33台

クラス1 6台
クラス2 7台
クラス3 10台
クラス4 6台
クラス5 4台

出走台数 33台

完走台数 28台(リタイア5台)

(株)北日本新聞社
北日本新聞(新聞誌)

トヨキン(株)
社内新聞(新聞誌)

(株)ブラッツ
ブレイドライブ(一般誌)

(株)ソニックビジョン
GAZOO Racing HP(ウェブサイト)

北日本放送
NEWS Every(テレビ)

取材媒体

地元の方の声援を受け 色鮮やかなカラーカーが富山を駆ける。

2013年9月15日、富山県南砺市を拠点として「TRDラリーチャレンジ Round4 in 富山」が開催された。当日は台風が接近し悪天候が心配されたが、レキの頃に降り出した雨はスタートの頃には降り止んだ。



今戦の舞台となる南砺市では「むぎや祭」が開催中であり、地元の方のご協力により、祭り会場内にエントラント紹介ブースを設置。道行く人々からの温かい声援に手を振って応えていた。



臼中ダムに移動してのSS1・SS2は2.38kmのターマックコース。朝の雨が路面に残る状況で滑るマシンを懸命にコントロール。FRの86にとってはアクセルワークに神経を使う展開となった。SS3はイオックス・アローザ駐車場に戻ってのジムカーナ風コース。各ドライバーともアプローチやライン取りに頭を悩ませながらの走行となった。

接戦が予想されたクラス2では、戸塚/角田組と松岡/武田組が全クラストップのタイムを連発する一進一退のバトルを繰り広げた、セクション1を終えた段階で松岡/武田組が1.2秒差でリードした。

全車86でのエントリーとなったクラス4では北瓜/植竹組が安定したタイムでSS1・SS2とクラストップタイムを叩き出したが、SS3で痛恨のミス。順位をクラス3位に落としてしまった。



午後のセクション2は小矢部方面へ20kmほど移動。市道・七村線でのSS4・SS6(ターマック)と、たき建設敷地内でのSS5・SS7(グラベル)が行われたが、途中から再び雨が降りだし、路面状況が刻々と変化。コ・ドライバーとのチームワークが試されるセクションとなった。



SS コースレイアウト

Section 1

SS1	ターマック A	2.380 km
SS2	ターマック A	2.380 km
SS3	ターマック B	0.400 km

Section 2

SS4	ターマック C	2.060 km
SS5	グラベル A	0.650 km
SS6	ターマック C	2.060 km
SS7	グラベル A	0.650 km



クラス2の接戦は最終SSまで続いたが、0.8秒差で松岡/武田組が辛くも勝利。また今回の結果により、最終戦を待たずに全クラスのシリーズチャンピオンが決定することとなった。



class
1

1500cc (NCP131) クラス



class
2

1500cc (NCP91) クラス



class
3

1000cc (SCP10) クラス



class
4

トヨタ車 (1500cc 以上) クラス



class
5

トヨタ車 (1500cc 未満) クラス



今回初出場のみなさん



最終戦、第5戦は10月27日(日) 愛知県内にて開催予定です。